

一般社団法人宮城県経営者協会

会長 海輪 誠 殿

仙台学長会議加盟大学代表

宮城教育大学 学長 村松 隆



【緊急要望書】 コロナ禍における宮城・仙台地区新規大卒者採用支援のお願い

常日頃、新規大卒者の採用に関してご高配を賜り感謝申し上げます。

おかげさまで、宮城労働局によれば、今春の就職率は96.3%と過去最高を記録し、私たち大学関係者も大変喜んでおりました。

ところが、急転直下、新型コロナウイルス感染症が猖獗をきわめ、4月16日に「緊急事態宣言」が全国に発出され、ここ宮城・仙台地区においても5月7日から5月31日まで、外出自粛、休業、営業時間短縮等の要請によって、経済活動が停滞してしまいました。とりわけ、移動や外出が制限されることによって、製造業、観光業、飲食サービス業等を中心にその影響は甚大なものがあります。感染症の第1波が収まりつつある現在、経済活動は回復してきているとはいえ、東北財務局の発表によれば、4～6月期の景況感、2009年のリーマンショック時を下回る過去最低の指数を示しています。

来春の新規大卒者の求人活動もこのような状況を反映して、全体的に遅延し、停滞しております。インターネット経由による面接で代替されてきたとはいえ、6月1日現在、内定率は昨年の70.3%に比して56.9%（リクルート・ワークス研究所調査）に止まっております。宮城・仙台地区においてはこれから、新規大卒者の採用が本格化しますが、どうか、このコロナ禍によって採用者数を手控えることのないよう特段のご高配を賜ればと切に願うところであります。

また、仙台学長会議の個々の加盟校からは、以下のような具体的な要望が出ておりますことを申し添えておきます。

- ① コロナ禍の中で大きく変化している各企業の採用姿勢について最新の情報を学生に広く提供していただくこと
- ② インターネット等を通じたウェブ面接なども含めて学生との幅広いコミュニケーション（採用面接）の拡大等もご考慮いただくこと
- ③ 全体的に就職活動が今後長引いていくことを念頭に、採用選考期間を延長していただくこと

④ 新型コロナウイルス感染症に伴い平日の授業スケジュールが過密状態にあることから、場合によっては土日・祝日等での採用試験実施についてご配慮いただきたいこと
私ども大学も何度も景気の変動を経験してまいりました。90年代初頭のバブルの崩壊、2008年リーマンショック、そして宮城・仙台地区においては2011年の東日本大震災がそうでありました。そのたびに、新規大卒者の就職率が下がり、非正規労働に従事せざるを得ない若年労働者を輩出してきたのであります。雇用の不安定さは結婚率の低下を招き、人口減少に拍車をかけることとなります。企業の皆様におかれましても採用の手控えによる特定の年齢層の人材不足は、事業継続の妨げとなると同時に、市場における購買力の低下の原因となります。

景気は、産業構造の変化を伴いながら、ポスト・コロナの「新しい日常」「新しい生活」と共に回復するものであります。宮城・仙台地区においても、地域の企業と大学が手を携え、協力し合いながら、この難局を地域経済の繁栄に変えていくことができたらと願っております。

ます。

かような事情をご賢察のうえ、何卒新卒者の採用支援にご尽力いただきますよう、よろしく
お願い申し上げます。

以下、加盟大学 学長連名（順不同）

石巻専修大学 学長 尾池 守

尚綱学院大学 学長 合田 隆史

聖和学園短期大学 学長 鳴海 渉

仙台赤門短期大学 学長 佐竹 正延

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生

仙台青葉学院短期大学学長 鈴木 一樹

仙台大学 学長 遠藤 保雄

東北学院大学 学長 大西 晴樹

東北芸術工科大学 学長 中山ダイスケ

東北工業大学 学長 今野 弘

東北生活文化大学

東北生活文化大学短期大学部

学長 佐藤 一郎

東北大学 総長 大野 英男

東北福祉大学 学長 千葉 公慈

東北文化学園大学 学長 土屋 滋

東北医科薬科大学 学長 高柳 元明

宮城学院女子大学 学長 末光 眞希

宮城誠真短期大学 学長 山口 義康

宮城大学 学長 川上 伸昭

以上